



# は〜もに〜

個性と個性が生みだす調和

まちづくり推進課 (内線311)

## ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)でいきいきと！(Vol.2)

向陽信和株式会社を訪ねて

12月号に続き、『岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業』の認定を受けた向陽信和株式会社の取り組みをご紹介します。

周りの従業員の皆さんが理解・協力してくれる温かい職場なので、安心して働くことができます。



### 子連れ出勤の導入

向陽信和では子育て世代の従業員が働きやすいよう、子連れ出勤を取り入れています。

親の働いている現場を見学する「子ども参観日」や夏祭りなど、家族参加の行事を行っているので、従業員の家族同士もみんな顔なじみ。子どもも会社で過ごすことに抵抗がないそうです。

『従業員に「この会社で働いてよかった」と思ってもらえることが大前提。そんな環境を作ることが私の仕事です。』

(代表取締役社長 古澤さんのお話より)

令和3年度「男女共同参画週間」  
キャッチフレーズ募集中!!



詳細は内閣府男女共同参画局ホームページでご確認ください。

## ようこそ手話の世界へ

福祉課 (内線217)



現在全日本ろうあ連盟は、2025年夏季デフリンピックの日本招致を目指して運動を展開中です。4年後日本でデフリンピックが開催された場合、世界中のろう者が日本にやって来ることになるでしょう。その時、日本の素晴らしさが伝わると思います。

聴覚に障害があっても、プロスポーツ選手として活躍している人や、健聴者と同じ大会に出場している人もいます。そんな中、ろう者自身が運営してオリンピック基準のルール(スタートの合図や審判の発言などが光の点滅・旗・国際手話など、視覚的に変更されています)で開催される「デフリンピック」が4年に一度夏季と冬季に開催されています。補聴器を外した状態での聴力損失が55デシベル以上のろうアスリート同士の競技や、交流を重視した大会です。

東京オリンピック・パラリンピックが今年、開催予定ですが、実は聴覚障害者は、オリンピックには出場できません。一方、パラリンピックには出場できないことをご存じでしょうか。

ろう者とスポーツ(デフリンピック)

### かんたん手話講座

雪は			危ない	
	→		→	
歯を指差す		親指と人差指で丸を作る		両手を胸にあてる